

合同セミナー開催、各社事業展開や最新製品の実演も 住宅設備機器の販売施工店25社40名参加

6月3日、HUAWEI 有明交流体験センターにおいて、高島(高島幸一社長)、華為技術日本(侯海社社長)、動力(鈴木竜宏社長)による合同セミナーが開催された。住宅設備機器の販売施工店25社、約40名が参加し、エネルギー関連事業の今後の展開や各社製品の紹介が行われた。

冒頭では、高島 建材事業本部エネルギー事業統括部ES西日本ユニットの竹田大樹氏が登壇し、同社の事業構成や今後の方向性について説明を行った。その中で、同社は太陽光発電大手カナディアン・ソーラーとのディストリビューション契約の締結を発表した。高島が調達・販売・流通の領域を担い、カナディアン・ソーラーは生産・保証・保守を行う体制とし、日本市場におけるカナディアン・ソーラー製品の展開を加速させる見込みだ。また、締結した契約の中には同社が設計ソフトのカスタマイズ機能を保有し、竹田氏は「ライセンス費用やシステム構築費用の提供を行い、当社経由で発行した『kanataro ID』限定で、カナディアン・ソーラーの設計ソフトに他メーカー製蓄電池のラインナップ追加が可能となる」とした。

加えて拡張戦略商品として華為技術日

本との取り組みを開始した。今後はカナディアン・ソーラー製パネルと華為技術日本製蓄電池の組み合わせを中心に、本格展開を行う。現行の華為技術日本製の住宅用蓄電池「LUNA2000-5/10/15-NHS0」は、6月中旬からの運用開始が予定されている。

次に、華為技術日本デジタルパワー事業部の新井龍人プロダクトマネージャーが登壇し、新製品である住宅用蓄電システムについて説明を行った。まず紹介されたのは、JIS変換効率97.1%を誇るハイブリッドパワーコンディショナ「SUN2000-4.95K-LB0-NH」だ。同製品は25kgと軽量で、少人数でも設置が可能とし、騒音レベルも29dbと低く、住宅環境への配慮がされている。加えて、大容量の過積載充電にも対応しており、ピークカットされることなく充電が行える点も特徴だ。AFCI機能も搭載し、火災リスクの低減を実現している。

さらに、最大21kWhに対応する住宅用蓄電池「SIシリーズ」も紹介された。新井プロダクトマネージャーは「防塵・防水性能はIP66相当で、ケーブルレス設計、バッテリーオプティマイザ、特許取得の熱処理機能、燃焼防止機能、消火モ



合同セミナー風景

ジュールといった6つの主要機能を備えており、安全性とメンテナンス性を両立させている」と説明した。販売は開始されており、市場には7月中旬ごろに供給される予定だ。

続いて、太陽光パネル架台メーカー・動力の取締役である芦原清一郎市場開発部長が新製品となる「SMAC AL Z」の特徴を紹介した。芦原市場開発部長は「同製品は、これまで産業用で使用されていた架台を住宅向けに改良したもので、ハゼ掴み部の形状と使用変更により、より簡易で迅速な施工が可能となった。これまで別工程で行われていたハゼ固定用ボルトとパネル押さえ用ボルトを一体化させることで、施工時間を従来の半分に削減できる」と述べた。参加者が実践的な理解を深めるために講演中は実際の商品を用いたデモンストレーションも行われた。



高島 建材事業本部 エネルギー事業統括部 ES西日本ユニット 竹田大樹氏



華為技術日本 デジタルパワー事業部 新井龍人プロダクトマネージャー



動力 取締役 芦原清一郎市場開発部長